

「くすり」の正しい使い方

—適正に使用してはじめて 有効で安全なのです—



プロフェッショナル講座（2）

日時：2017年9月24日（日）12:30～

場所：目黒カベナント教会 1階

講師：永井尚美（教員、武蔵野大学薬学部）



今回の学びでは、医薬品の正しい使い方とセルフメディケーションについて、これらを取り巻く最近の医学の進歩について、一緒に考えてみたいと思います。

（1）聖書と「くすり」

オリーブや適量のぶどう酒は健康維持に良いとされ、日常生活に取り入れている方が皆さんの中にもいらっしゃると思います。ノアの箱舟のオリーブ（創世記 6-9 章）やカナの婚礼のぶどう酒（ヨハネ 2 章 1-11）をはじめとして、聖書の中に数多く登場します。また、聖書には、神がなさる業として心身をいやす場面も数多くあります。一方、「魔術」（ガラテヤ 5 章 19-20）は、ギリシャ語のファルマキア、後に英語のファーマシー（薬）に発展したとされ、心霊儀式の際に呪術者が使用した麻薬や覚醒剤と考えられます。

（2）医薬を知ることとは？

神は人をご自身のかたちとして創造されました。私たちは、医学の知識や必要な技術を学んだり、薬を作ったりすることにより、心身をいやすことができるものとして造られていると思います。現在では、画期的な医薬品の登場により、治癒が困難だった病気の幾つかはほぼ完治するようになり、遺伝子を操作する技術や再生医療などにより、私たちの身体の一部を造ることが可能なレベルまで医学が進歩しています。

「目が見えるようになるため、目に塗る目薬を買いなさい」（ヨハネ黙示録 3:18）
ラオデキアは目薬で有名だったそうです。目薬を塗るとの比喩的表現で正しい見方を取り戻すよう、ヨハネを通じて私たちに忠告しています。

医薬品は適正に使用してはじめて「有効」で「安全」なのです。私たちは、創造されたものとして、与えられた医薬の恵みを正しく用いて心身の平安を保つよう心掛けたいものです。

<http://www.kksmile.com/support/sozai/>

<http://rad-are.com/textbook/material/index.html>